

令和5年3月吉日

明治維新150年・板垣退助先生百回忌顕彰祭実行委員会

一般社団法人板垣退助先生顕彰会

## 「桜の季節に安倍元総理を偲ぶ慰霊祭」齋行のご案内

謹啓 桜月の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年は、板垣退助岐阜遭難140年となる節目の年にあたり、弊会と致しましても深く先人の偉業を顧みる折柄、板垣命日の7月16日を一週間後に控えた**7月8日、安倍晋三先生が参議院選挙の演説の最中に背後から銃撃され身罷られる**という衝撃的な事件が起きてしまいました。

弊会はこの事件を明治維新以降連綿と培われてきた、民意を問うべき議会政治への許されざる侵害であると憤るとともに、**このような暴力によって安倍先生の志が途絶えることがあってはならない**と感じております。しかるに、事件現場となった大和西大寺駅前には、一柱の祈念碑も建立されること無く、アスファルトを剥がし再開発を行い、事件を風化させ、忘れ去るに任せようとしているかの感が否めません。弊会はこの現状を見るにつけ、傍観するをあたわず、安倍先生の偉業とこの事件を忘却することなく、その精神を継承していく決意を胸に、安倍先生の愛された**桜の咲く季節を期して**、護国の大神たちの見守る大阪護國神社で、**政治家として国に殉じられた安倍先生を偲ぶ慰霊祭**を齋行いたしたく存じます。

皆様におかれましては、ご多忙のこととは存じますが、趣旨に賛同頂きご臨席賜りますよう、謹んで茲にご案内を申し上げます。謹白

### 記

〔「安倍晋三元総理慰霊祭」ならびに「桜の季節に安倍晋三元総理を偲ぶ会発起会」〕

日時 令和5年3月26日(日) 11:30～ 受付開始  
12:00～ 安倍元総理慰霊祭（国歌斉唱、祝詞奏上、祭文、献句、玉串奉奠、「國の鎮め」奉唱）  
12:40～ 桜の季節に安倍晋三元総理を偲ぶ会発起会 趣意書説明（直会会場にて）  
13:00～ 直会（記念品 故安倍首相揮毫の楯お渡し）

場所 大阪市住之江区南加賀屋1丁目-1-77 大阪護國神社

会費 金壱万円也（懇親会費・記念品込）

●ゆうちょ銀行 記号14000 番号68772081 ●りそな銀行 梅田北口支店 414 普通 1839037

※お手数ではございますが、出席の可否をmailにて3月22日迄にお送り下さいますよう

よろしくお願い申し上げます。(E-mail: info@itagakitaisuke.link)

# 「桜の季節に安倍元総理を偲ぶ会」発起会趣意書

## 安倍晋三元総理と板垣退助先生顕彰会のゆかり

昭和 43 年(1968)は、明治維新百年・板垣退助五十回忌に相当する年となったため、当時の自由民主党総裁・佐藤栄作先生が名誉総裁となり、「板垣退助先生薨去五十年墓前祭」を、東京品川で齋行するため「板垣退助先生顕彰会」が組織されました。

板垣退助先生の創設された「愛國公党」ならびに「自由党」が、現在の自由民主党の起源であり、「戊辰の皇誓（五箇条の御誓文）」の第一條「**広く會議を興し、万機公論に決すべし**」の意を体して繰り広げられた自由民権運動の結果、開設されたのが帝国議会であるからであります。

よって、その意義を顕彰し佐藤栄作総理は「大先輩板垣先生の政治的後継者が現在の自由民主党である」との矜持を胸に、自ら筆を執って板垣先生の精神を表す言葉「板垣死すとも自由は死せず」を揮毫し、板垣先生の曾孫・板垣退太郎氏に贈られました。板垣家は、この揮毫を「板垣退助先生顕彰会」を通して高知産出の巨石に刻み、「板垣退助先生薨去五十年墓前祭」を齋行し、東京品川の板垣墓前に石碑として建立しました。（五十回忌式典は神道式で齋行され、墓前に祝詞奏上、玉串奉奠が行われました）

それから 50 年を経た平成 30 年(2018)は、明治維新 150 年・板垣退助百回忌を迎える年となるため、一般社団法人板垣退助先生顕彰会は、高知板垣会、岐阜板垣会とも連携して議案を重ね、高知菩提寺（仏式・真言宗・高野寺）、岐阜銅像前（神道式・岐阜縣護國神社）、東京菩提寺（仏式・臨濟宗・高源院）で執り行うこととなり、仏式で行う高知・東京の両菩提寺に、板垣退助先生の位牌を百回忌の記念として新調・奉納することを決議しました。

位牌はいたづらに華美で高価なものを求めるのではなく、「歴史的に価値のあるもの」を作ろうと思案し、50 年前の例に倣い、時の自民党総裁に「板垣死すとも…」の揮毫を賜り、その文字を位牌の裏に彫って奉納することになりました。

平成 30 年(2018)、当時、自民党総裁であった安倍晋三先生は、弊会の趣旨に御賛同を賜り

「**板垣退助大先生のために出来ることなら…**」と側近の方に仰られ、外遊の多忙な時期にも関わらず、合い間を縫って「板垣死すとも自由は死せず」と揮毫され、板垣退助の玄孫・高岡功太郎理事長に贈られました。高岡理事長は弊会を通じて、この揮毫を位牌の裏に彫り、板垣退助先生百回忌を齋行して、東京と高知の両菩提寺に奉納されました。（ちなみに東京菩提寺・高源院は、板垣退助の埋葬地の寺院であり、高知菩提寺・高野寺は、板垣退助の誕生地に建つ寺院です）

ところが、その板垣百回忌から、4 年を経た令和 4 年(2022)7 月 8 日、**安倍先生が参議院選挙の演説の最中に、背後から狙撃され暗殺される**という悲劇的な事件が起きました。

弊会は、理事長以下有志が参集、7 月 10 日、大和西大寺の事件現場に直行し、般若心経を奉

唱、献花を行いました。また、同7月17日、岐阜の板垣退助先生銅像前で、「安倍晋三元総理を追悼する献花式」と慰霊の神事（岐阜縣護國神社祝詞奏上）を齋行し、高岡理事長の筆頭献花、筆頭玉串奉奠をかわぎりとして、岐阜市長、県会議員各位が献花、玉串奉奠を行いました。

安倍先生の国葬の日である、9月27日は、弊会は自民党大阪府連本部にて記帳を行い、その後、事件現場となりました大和西大寺から国葬を遙拝。また、50年前の佐藤栄作先生の時を模範として、泉下の安倍先生に、謹んで弊会の「名誉総裁」号を献じることを決議しました。

高知の板垣退助菩提寺・高野寺は、従来「板垣退助生誕地」として世に知られておりましたが、弊会が安倍先生揮毫の位牌を奉納したことにより、「安倍元総理ゆかりの寺」として知られるようになり、同9月27日、安倍先生の国葬の日には、「**安倍晋三元首相国葬遙拝所**」と献花台が設置され、250名以上の方々が弔問に訪れました。

## 我々の想いと今後の活動方針

板垣退助の政治的正統後継者であり、板垣精神を実践して来られた安倍先生に対する、名誉毀損、言われなき誹謗、偏向報道に抗議する事で、健全な日本を取り戻し、天壤無窮に皇国の御栄を護らんとする大和心を涵養するものであります。安倍先生は、歴代最長の政権を為されましたが、「歴代最長」という言葉は、客観的尺度で考えますと「史上最も国民から愛された首相」と言えるのではないのでしょうか。弊会は、安倍先生の偉業とこの事件を忘却することなく、その精神を継承していく決意を胸に、安倍先生の愛された**桜の咲く季節を期し**、護国の大神たちの見守る大阪護國神社で、**政治家として国に殉じられた安倍先生を偲ぶ慰霊祭**を齋行し、かつまた安倍先生の事績を顕彰する石碑の設置、事件を風化・忘却させないよう措置を働きかけていくための実行委員会を設置して活動して参りたいと存じます。皆様におかれましては、趣旨を諒とせられ、我等草莽の微衷に御賛同を賜らんことを。

## 活動内容

- 適切な場所を選び、桜の季節に「**安倍晋三元首相を偲んで桜を観る会**」を開催する。
- 安倍先生の事績を顕彰し、記念碑、慰霊施設、銅像の建立などを国、県、市等に広く訴える。
- 安倍先生に対する、名誉毀損、言われなき誹謗、偏向報道に紳士的かつ適切な手段を以て抗議する。
- 安倍先生の志を継承し、皇統の連綿たる安寧を護持するのはもとより、憲法改正および国民の生命、財産、領土の保全に寄与し、日本の文化を守る活動を行う。
- 上記趣旨に賛同する団体等と連携し、協力、共催、支援、参加を行う。

令和五年桜花の候吉祥日

一般社団法人板垣退助先生顕彰会 理事長 高岡功太郎ならびに有志一同